



ロータリーは
機会の扉を開く



国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

クラブ会報 **なんと**

NO. 2490

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影
写真同好会

谷村修基会員



白山のクロユリ

第2549回例会 令和2年8月15日(土) 曇通り雨

- ◆点 鐘 6:15 木勢博文会長
- ◆司 会 大西正芳 SAA
- ◆ソング 「それでこそロータリー」
- ◆ゲスト 真宗大谷派城端別院善徳寺 輪番 亀渕 卓師
- ◆会長の時間 木勢博文会長

私ごとですが、母が亡くなったことを機会として平成最後の年に墓のリフォームをしました。前の墓は、納骨については深くて困難をともなったのと、敷地のコンクリートの表面劣化が理由です。新たに建てるのではなく、なるべく前のままにと思いました。上部の石は風雨によって劣化していましたが、研磨したら綺麗な表面になりました。名前の文字も右から左へと前のおり彫りましたので、歴史を尊重することができました。下部については新たな石によって大きくなり、納骨の困難を解消し、敷地を石にしました。

リフォームをする機会があって、リフォームをすることができて嬉しく思っています。 仏教であれ、キリスト教であれ先祖の霊を祭る気持ちは同じだと思います。

最近では少子化の影響で、墓仕舞いする傾向がありますが、あえてリフォームをしました。

エジプトのピラミッドではありませんが、我が家の歴史も永遠に続いてほしいと、ファラオの気持になりました。今日は、お盆です。墓参りします。



今年も”鉄の馬”は健在である!(騎手:荒井君86才)

本日のプログラム 8月25日(火) 第2550回例会
卓 話

担当 川合声一 会員

◆幹事報告 森 雄一 幹事

- ① G事務所より、夏季休業のお知らせ
8月13日(木)14日(金)※8月15日(土)、8月16日(日)は通常通りの休業となります。
- ② G事務所より、RLI研究会(パート1)開催の案内について
日時: 9月20日(日) 9:00-17:00 Zoomにて
参加希望者は8月20日まで事務局へ申し出てください。
- ③ 高岡万葉RC、射水RCより例会変更のご案内

★**ココロポックス**

8/15 谷村修基委員長

- 木勢君 早朝例会。あんころ。お盆。城端別院に感謝です。
- 山田清君 あんころが主食となる1日です。
- 古軸君 今年のお盆も別院で気持ちの良い朝を迎えることが出来ました。
- 高野君 今年も参加できて、幸いです。
- 中田修君 すがすがしい朝、盂蘭盆会を善徳寺で迎えて。
- 谷村修君 今年のお盆は、シッカリ体を休められます。
- 三吉君 終戦75年を迎えて。
- 久恵君 早朝例会で、早く目がさめてしまいました。2時半です。眠い!!
- 片山浩君 城端別院輪番亀渕様の法話楽しみです。
- 船藤君 いつもと違うコロナ禍のお盆、平凡なお盆がいいですね。合掌
- 松井君 早朝のお寺、すがすがしい気持ちです。
- 古瀬君 今年も早朝例会に出席出来ました。合掌。
- 岩木君 今朝、なぜかスッキリと目がさめました。
- 榊 君 おだやかなお盆です。
- 荒井君 元気で、お盆を迎えさせていただきました。感謝です。
- 岡部君 今年も家族全員が無事でお盆を迎えられました。感謝、感謝。
- 尾山君 南砺市に新型コロナウイルス感染者発生。病院施設にお入りの方とまた、面会ができなくなります。
- 澤田君 清々しい旧盆の早朝。最高に気持ちの良い瞬間です。
- 安居君 無事、お盆を迎えられて感謝致します。 合掌!
- 川合君、松村君、森雄君、北島君/ お盆の例会に参加して。
- 木村君 春に母を亡くして迎える盆ですが、いつもの通りでバタバタしております。今年も先祖に感謝です。
- 牧 君 早朝例会に出席できました。年々早く起きますが、何か忘れ物がある! 携帯(歩数計)、カメラ、録音機2台、筆記用具、財布、例会プロ、マスク。ウーン、今年も数珠を忘れた。やはりボケもそれなりか!!
- 湯浅君 早朝例会2年間不参加。すみませんでした。2年ぶりの参加ありがとう。合掌。

◆出席報告 山田清志委員長

会員数	8月15日出席率	7月28日の修正
48 (免除0)	72.91% (欠13)	83.33% (欠8メーク0)

次回の予定 9月1日(火) 第2551回例会
ロータリー雑誌セミナー

担当 山田孝委員長

* 8月18日(火) 例会はありません。15日に振替のため



1 日本社会を襲う3つの危機(歴史学者・磯田道史氏)

- 第1-「ウイルスのパンデミック」最も確実に、最も多くの死者
- 第2-「火山の破局噴火」1万年に1回程の頻度 九州一つを焼く破壊力
- 第3-「津波」100年に約1回被害想定で32万人が亡くなる

※「ウイルスのパンデミック」—今から100年前の「スペイン風邪」

- 「当時の世界人口は約18億人、半数から3分の1が感染し、死亡率は地域によって10~20%になり、世界人口の3~5%が死亡。全世界で5,000万人以上の死者」
- ・コロナウイルスはいつ始まった?—紀元前8000年頃(遺伝子解析)
- ・何が起こった?—「農耕革命」と「定住化」。西アジアで、羊、山羊、豚の「飼育」開始。「ヒトと動物との濃密な接触」、「牧畜」の開始とともに始まった。

何らかの「社会的・技術的・経済的な革命」 中世ヨーロッパでのペストの大流行-中世農業革命
(製鉄隆盛→農具や水車の普及→食料の充実→人口の急増→都市の肥大化→ネズミのえさが多い→天敵のタカやキツネなどがいない→ネズミが大発生→ペスト菌を媒介)



2 日本での「感染症」

- ・藤原武智麻呂、房前、宇合、麻呂(藤原4兄弟)737年に死亡。死因は天然痘、聖武天皇の天平の頃に天然痘が大流行。
- ・そもそも「天然痘」とは?—『続日本紀』にこの疫病が「天然痘・痘瘡(もがさ)」 735年(天平7年)、大宰府・九州北部で発生。流行の感染源は「遣唐使」「遣新羅使」。

「遣新羅使」一行が九州を経由し、平城京に帰還したので、天然痘は日本全国に、身分を問わずに広まって多くの犠牲者を出した。737年までに犠牲者は150万人に及ぶ。

当時、災害や疫病などの異変は為政者の資質によって引き起こされると見なす風潮があり、天然痘の流行に個人的な責任を感じた聖武天皇は仏教に帰依して東大寺や奈良の大仏の建造を命じたほか、日本各地に国分寺を建立。一結果的に天平文化の隆盛

- ・大航海時代に日本に到来したのは、「火縄銃」や「キリスト教」と「性感染症(梅毒)」
- 安土桃山時代の推計人口-約1500万人(男性の2/3、女性の1/3に梅毒の痕跡)

- ・1822(文政5)年、大事件勃発

インドの風土病「コレラ」が世界的大流行。オランダ商人が持ち込み、九州から広がり、西日本に大被害。江戸には至らず。

1858(安政5)年、ペリー艦隊のミシシッピ号の乗員から感染。江戸の死者は30万人にも及ぶ。

- ・江戸での給付金-品川宿で、金一分から二分の支援金が配られたり、自身番前で煎じ薬が配られたりした。総額505両2分であったという。

[安政5(1858)年の金一分は現代では約6,000円。当時一分で米を20Kgほど買うことができた]
人類はまだまだ多くの未知のウイルスとの闘いを続けなければならないでしょう。

3 緒方洪庵や大久保利通の感染予防策

- ・衣服を清潔に保つこと、体を清潔に保つこと、掃除をすること、窓を開けて換気をすること、酒の暴飲はやめること。房事すなわちセックスは節制すべし。便所・下水溝の精掃、看護にあたる者以外は他家に避難させて、むやみに往来しない。
- ・前近代の救いを求める人々…張り子や赤べこ、さるぼぼなどは天然痘除け、アマビエは疫病除け

4 蓮如上人の御文:(4帖第9通)

「当時このごろ、ことのほかに疫癘とてひと死去す。これさらに疫癘によりてはじめて死するにはあらず。生まれはじめしよりしてさだまれる定業なり。さのみふかくおどろくまじきことなり」

- ・葬られる権利—志村けん、岡江久美子さんの例に学ぶ…。
- ・自業自得の道理—いつわが身に (以上配布資料)

(註) 葬られる権利とは、人間は死に際して、親戚縁者、いろんな人から亡くなった人の、死に様、生き様を訊ねられることにより、人としての尊厳や、ありようを見習われ、残った人は生きていきます。亡くなった人から教えて貰うのです。上記のお二人は、遺族は遺体に触れることは勿論、火葬にも立ち会えず、箱に入った骨で渡された。人間は物ではない。感情を抱いて、一生の働き、一瞬を大事に社会と共有、協働して生きてきたのです。

怖がらず、しかし、畏怖の心を持った心構えで、ちゃんと正していくのが、人としての生き方ではないか…。

(註:担当者文責)



(今回の会報担当・牧 千収)